

Maple Cup

第12回 たかの友梨杯 オープンゴルフトーナメント

開催日:令和3年10月1日(金)

開催コース:メイプルポイントゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2 罰打)**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズの境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

1番と8番ホール間の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球はアウトオブバウンズの球とする。(どの杭と杭を結ぶかは杭の上部に矢印が記されている。)

2. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a) 修理地

(1) 青杭を立て、白線又はローピングで囲まれた区域。

(2) ジェネラルエリアの張り芝の継ぎ目(スタンスへの障害や継ぎ目でない箇所は除く)

(b) 動かさない障害物

(1) カート道路と白線で繋がれている区域は、カート道路の一部として扱われる。

(2) 枕木で構成された階段および歩経路、スプリンクラー操作盤(目隠し用の樹木も含む)

(3) 道路に接している縁石、枕木、ゴムマットおよび道路と白線で繋がれた部分は道路と一体のものとする。

(4) 12番ホール左バンカー左側の枕木

3. 不可分な部分

以下の物は不可分な部分であり、無罰の救済は認められない。

(a) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

(b) 枕木(階段およびバンカー内の歩経路は除く)

4. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

*『溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用』(用具規則 4-1)は適用しない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

5. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。ただし、ハーフターン時の指定パッティンググリーンの練習はこの限りではない。

6. スプリンクラーヘッドがグリーンから2クラブレングス以内にあり球からも2クラブレングスの範囲内で、しかも球とホール間のプレー線上にかかっている時は、プレーヤーは次のような救済を受けることができる。(a)ホールに近づかず(b)そのような障害を避けられる(c)ペナルティーエリアでもグリーン上でもない場所で、球のあった箇所に最も近いところにドロップできる。拾い上げた球は拭くことができる。

7. NO.8において、球がペナルティーエリア内にあるか、球は見つからないがペナルティーエリア内にあることがほぼ確実な場合、プレーヤーは次の処置のいずれかをとることができる。

(i) 規則 17.1dに基づく処置。

(ii) 追加の選択肢として1打の罰のもとに球をドロップ区域にドロップ。

8. NO.4・NO.6 ホールの白線内の道路上に止まった球は、フェアウェイ側に救済できる。

9. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷など、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(a) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b、c、dに従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図について

通常プレーの中断 :短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 :1回の長いサイレンを鳴らして通報する

プレーの再開 :1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に競技委員会を通じて、無線にて連絡する。

10. キャディー

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰:違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

11. 距離計測機器の使用

プレーヤーは距離計測機器の使用によって距離の情報を得る事ができる。但し、正規のラウンド中にプレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件(例えば、標高変化、風速など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則 4-3 の違反となる。

12. 後方線上の救済をとり、救済エリアの外からプレーした球

「後方線上の救済を受ける場合、プレーヤーが関連する規則(規則 16.1c(2), 17.1d(2), 19.2b, 19.3b)によって求められる救済エリア内に球をドロップしたが、その球がその救済エリアの外に止まった場合、その球をドロップしたときに最初に地面に触れた箇所から1クラブレングス以内にその球が止まっているのであれば、追加の罰はない。

この罰の免除は、球が基点よりホールに近い所からプレーされていたとしても、元の球の箇所や、球がペナルティーエリアの縁を最後に横切ったと推定した地点よりホールに近づいてプレーしていなければ適用する。

13. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り替え

プレーヤーのクラブを乱暴に扱った以外のケースでラウンド中にそのプレーヤーやキャディーによって「壊れた、または著しく損傷した」場合、そのプレーヤーは規則 4.1b(4)に基づいてそのクラブを別のクラブに取り替えることができる。クラブを取り替える場合、そのプレーヤーは壊れた、または著しく損傷したクラブを規則 4.1c(1)の処置を使用して、すぐにプレーから除外しなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰 — 規則 4.1b 参照

(特記事項)

*NO.2、NO.9、NO.17 のウエストエリアは本競技には適用せず、通常のバンカーとする。(ソールできない)

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技委員会の裁定

競技委員会は、競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

4. 正規のラウンド中、乗用カートへの乗用を認める。

5. タイの決定方法

プロの部:優勝 第1位にタイが生じた場合は、18番ホールでのサドンデス方式によるプレーオフを行い優勝者を決定する。

※ 優勝者以外でタイになった場合は、該当する順位の合計金額を均等割りとする。

但し、40位はマッチングカード方式(終わりの9ホール→NO.10~NO.18)により決定する。

プロシニアの部 :1位または2位にタイが生じた場合は、その金額を均等割りとする。

アマの部 :マッチングカード方式により順位を決定する。(終わりの9ホール→NO.10~NO.18)

6. 競技終了

全ラウンドを終了し、委員会が公式スコア集計用紙に記入された内容に間違いがないことを確認して終了時間を記入、委員長が署名、承認公表した時点で、競技終了とする。

距離表

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
Yards	552	397	185	319	379	422	524	212	433	3,423	
Par	5	4	3	4	4	4	5	3	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	ToTal
	547	427	219	361	349	426	188	392	567	3,476	6,899
	5	4	3	4	4	4	3	4	5	36	72

その他留意事項

1. 来場時に検温と手指消毒を行うこと。検温で **37.5 度以上の場合には参加をお断り** します。また、体調不良など新型コロナウイルス感染が疑われる方は参加を取りやめること。
2. **入退場時はマスクを着用** すること。また、ソーシャルディスタンスを保つことを心掛け、不要な会話はなるべく控えること。感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置の順守、指示に従うこと。
3. 競技後に新型コロナウイルス感染が判明した場合は必ず 当クラブに報告すること。
4. 欠席者のあった場合、組合せ及びスタート時刻を変更することがある。
5. 競技当日クラブハウス・練習場・レストランは 6 時 00 分オープンとする。
6. プレーに際してのお願い
 - a. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、クラブハウス内掲示板及びスターティングホールのティイングエリア付近に掲示して告示する。
 - b. 打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 コイン (30 球) を限度とする。
 - c. 打放し練習場併設のアプローチ・バンカーは使用禁止とする。また、練習グリーンにおけるアプローチ練習も禁止とする。
 - d. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とする。
7. サスペンデッド競技はこれを行わない。

メイプルカップたかの友梨杯ゴルフトーナメント
競技委員長 高野 秀治